

【大分県納税貯蓄組合連合会会長賞】

縁の下の力持ち

佐伯市立佐伯城南中学校

三年 佐藤 舜亮

私の父親の仕事は市の道路や橋、林道を建設したり修繕する仕事をしています。その仕事は災害から身を守るための大切な役割を果たしており、人間が生活する上でとても重要なことです。ある時、父親と収入の話をしていると、父親は市役所に勤めているため父親の収入は全て税金から来ているということをその時初めて知りました。それまでの私は税金は国民からただお金を取っているだけだと思っていましたが、父の話から興味を持ち、自分で税金はどのような使われ方をしているかを調べてみました。

その中で特に印象に残ったのは、道路整備と公務員の収入源です。まず、道路整備が印象に残った理由は父が仕事で道路を作ったり直したりするために使うお金のほとんどが税金から来ているということを知り、驚いたからです。税金が道路や橋を建設したり、修繕するために使われていることで災害が発生したときに身を守ってくれたり、日常生活を豊かにしてくれているんだとわかりました。次に、公務員の収入源が印象に残った理由は、警察官や消防士、保育士の方々の収入は全て税金から来ていることを初めて知ったからです。実は母の仕事は保育士なので私の両親の収入は全て税金から来ているため、今私が生活できているのは税金のおかげなんだなと思います感謝しました。

今までの私は税金に良い印象をあまり、持っておらず悪い印象の方が大きかったです。ところが、父の話から興味を持ち税金について色々調べたところ、私の考えは大きく変わりました。災害時の安全のためや日常生活を豊かにするため、公務員の収入源のためなど様々な場面で重要な税金は私たち国民が生活する上でとても大切な役割を果たしています。今の日本は税金を払いたくない人が、多くいますが、国民が豊かな生活をするためや日本を発展させるために国民全員が公平に負担しなければなりません。不人気な税金ですが実は縁の下の力持ちだということを知り今では私の中で大切な存在です。